

小城市立岩松小学校
学校だより第12号



岩松小だより

令和6年6月28日発行
発行者 校長 真子靖弘

第2回人権集会

太平洋戦争末期の沖縄において、旧日本軍による組織的戦闘が終わった日から今年で79年目を迎えました。6/18(火)、「平和」というテーマのもと、上学年、下学年に分かれて**人権集会**(担当：石橋先生、廣末先生)を実施しました。



上学年では、最初、「戦争はだれがするのですか?」「6/23は何の日?」という石橋先生からの「問い」について考え、発表することから始まりました。

その後、「なきむしせいとく 沖縄戦にまきこまれた少年の物語」の朗読が行われました。この物語は、8歳の主人公「せいとく」の視点から沖縄戦について描かれたものです。

集会後、児童は「平和な世の中にするためにはどうすればよいか」について各自で考えをまとめていきました。6年生の考えを紹介します。

今日は石橋先生が戦争のない平和な世界にするために沖縄戦の話をしてくれました。戦争ではたくさんの沖縄県民が亡くなったといいます。そもそも戦争に意味はあるのか考えました。でも戦争をしている国はいっぱいある。だから**日本から戦争のない平和な国にしていきたい**です。まずは、すぐ近くにいる「友達」から小さいケンカも大きくなならないように**ケンカ0**を目標に**幸せな国にしていきたい**です。

日本国憲法**第9条1項**(「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、**国権の発動たる戦争**と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、**永久にこれを放棄する**」)を私たち国民が改正しない限り、日本が侵略戦争を行うことはないでしょう。また、戦争に至るまでの原因をつくらぬ外交努力を行うことで、戦争回避につなげることができるでしょう。

「戦争をしない=平和」と単純に考えることはできませんが、児童が言うように身近な人たちの人権を大切にしていけることが**幸せな国(平和な国)**への第一歩だと思います。

ほたるまつり

6/17(月)~20(木)、**図書委員会**企画、「ほたるまつり」を開催しました。

目的：楽しみながら本を借りて、読書に意欲的に取り組めるようなきっかけづくりをする。

4日間を通しての取組「**あじさい読書**」は、本を借りた人があじさいの花びら(折り紙)をもらい、廊下の用紙に貼り、あじさいの花を咲かせていくという面白い企画でした。また、日替わりの企画(**しおりコンテスト**、**図書館クイズ**、**おすすめの本**、**図書委員によるブックトーク**)も読書推進につながる**創造的な活動**でした。



また、19(水)には、**ピーターパン**さんの読み聞かせもありました。1年生は、木製の紙芝居枠を持参していただき読み聞かせを行っていただきました。

ゲストティーチャーと体験活動 その2

学校だより第10号でもご紹介しましたが、職員は、可能な限り様々な時間において、**専門家**を招聘したり、**体験活動**を取り入れたりといった工夫をしながら**主体的・対話的で深い学び**に繋がる**授業づくり**に挑戦しています。最近の実践例を紹介します。

- 6/18(火)、吉田喜美明先生、宮島寿一さんをお招きし、**5年生**が**祇園川の生物採集**を体験。
- 6/21(金)、6年生が吉野ヶ里遺跡を訪問。弥生時代の**大規模な環濠集落跡**を見学、**勾玉作り**を体験。
- 6/21(金)、**4年生**が**佐賀市エコプラザ**を訪問。ゴミ処理の様子について見学。
- 6/21(金)、社会福祉協議会の方をお招きし、**3年生**が**車イス体験**。
- 6/24(月)、**ダスキン**の方をお招きし、**1~3年生**が**掃除の極意**について講話・体験。
- 6/25(火)、**県環境センター**の方をお招きし、**6年生**が**サーベイメーター**を使用し**放射線測定**を体験。

